

美浜町水道事業経営戦略（案）に対するパブリックコメント（意見募集）の結果

【パブリックコメント（意見募集）の実施方法】

- (1) 意見募集期間 平成31年1月4日（金）から平成31年1月31日（木）まで
- (2) 案の公表方法 水道課窓口及び美浜町ホームページ
- (3) 周知の方法 美浜町ホームページ及び広報みはま（平成31年1月号）に掲載

【実施結果】

- (1) 意見の提出者数 1名

【意見・提言の内容及び町の考え方・対応方針】

計画(案)該当頁等	意見・提言の内容	町の考え方・対応方針
全体	P.22で示されている基本方針のうち「健全経営の持続」について、人口減少を背景とする給水収益減により、収支均衡のために水道料金値上げが必要との論理に基づき、定量的目標が示されている。しかし、その前提ともなっている「安定した水の供給」（計画的な更新）、「災害対策の充実」（配水管の耐震化）など他の基本方針については定量的目標値が示されていない。他の基本方針についても定量的目標が示されるべき。	<ul style="list-style-type: none"> ・「安定した水の供給」、「災害対策の充実」については、老朽管の更新及び耐震化の推進のため、従前実績（直近3か年の平均約0.9億円）以上の投資額を投資計画に織り込むことで安定した水の供給を図る計画です。従って、P.22「埋設管路（工事のみ）への投資額を毎年度1.3億円程度実施」を定量的な目標値として、投資計画に反映させています。 また配水管の耐震化については、ご指摘のとおり基幹配水管（口径200mm以上）の耐震化率として、14%以上を達成することを目標として記載します。
5. 投資・財政計画（収支計画） (2) 投資・財政計画（収支計画）の策定にあたっての説明 i 収支計画のうち投資についての説明 ②説明 P.22の22行目～P.23 3行目投資額の試算まで	<p>計画的な更新については、現有施設・管路等についての更新必要時期を示し、それを踏まえた長期の更新計画を示す必要がある。配水管の耐震化についても目標値の明示が必要。これらの数値目標なしに、工事請負費は算出できないのではないかと。</p> <p>アセットマネジメントの考え方とは具体的に何か。そのうえで、どこにどのように適用されているのかを示すべき。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・投資計画は、現有施設・管路等の耐用年数や日常点検での劣化状況の認識に基づき、各施設・管路の更新時期を推定し投資計画を作成しています。この計画は、各機材等の細かな単位の更新計画となっており、経営戦略上は概括的な将来計画を示すという趣旨から、これらの細かな計画を示してはおりません。 また配水管の耐震化については、前述のとおり目標値を設定し、必要な工事費を投資計画に見込んでいます。 ・アセットマネジメントとは、「中長期的な視点に立ち、水道施設のライフサイクル全体にわたって効率的かつ効果的に水道施設を管理運営する体系化された実践活動」であり、経営戦略策定趣旨と共通するものをご理解ください。具体的には施設の日常点検等によるモニタリング結果を活用しながら、重要度や優先度を考慮して各施設の更新時期を検討するとともに、その財源の裏付けをすることにより過剰投資とならないよう留意し投資計画を策定しています。 ・「アセットマネジメント」という言葉は一般的な言葉ではないため、上記説明を追加します。
別紙 P.27	<p>次の3つの数値の差異・関連についての説明が必要ではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「埋設管路（工事のみ）への投資額を毎年度1.3億円程度実施」（P.22） ・「投資額（資本的支出）の試算」の数値（P.23） ・別紙 投資・財政計画（収支計画）の「資本的収支 支出 1.建設改良費 (8) 工事請負費」の数値（P.27） 	<ul style="list-style-type: none"> ・P.22「埋設管路（工事のみ）への投資額を毎年度1.3億円程度実施」は、埋設管路工事のみの投資額を意味しており、その他の費用（事務費、水管橋、機器等の更新）を含んだ金額ではありませんので、資本的支出の額と差が生じています。 ・P.23「投資額（資本的支出）の試算」は、企業会計上の処理をした後の数値となっており差異が生じていました。ご指摘により、両者は整合していた方が理解が容易と考え、P.23「投資額（資本的支出）の試算」を「投資額（工事請負費）の試算」に修正します。